施工 取扱説明書

防犯フラッシュライト
型　番　SARL11・8ARL11

お客様へ　器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ　施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警　告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

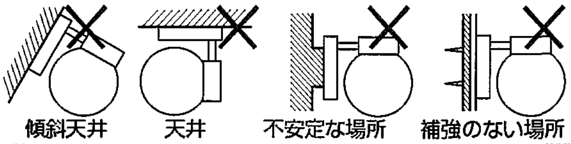
厳守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。
→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。

禁止

この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。
→火災・感電の原因になります。

このような場所には取付けないでください。
この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。
不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。



傾斜天井　天井　不安定な場所　補強のない場所

分解禁止

器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→火災・感電・落下によるけがの原因になります。

禁止

埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。
→樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。

禁止

器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。
→感電・故障の原因になります。

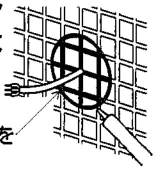
器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。
→火災の原因になります。

アース工事

アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→アースが不完全な場合、感電の原因になります。

厳守

タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。
→火災・感電の原因になります。



パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。

表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。
→火災・感電の原因になります。

異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注　意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

接触禁止

点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。
→やけどの原因になります。

禁止

ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。
→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

禁止

ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。
→火災の原因になります。

■定格

型　番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
SARL-11･8ARL-11	AC100V	60W	レフ球 60W(E26)×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

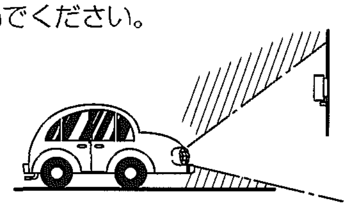
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

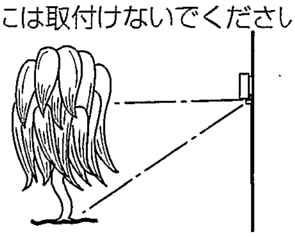
• 下図のような場所には取付けない。

誤作動の原因になります。

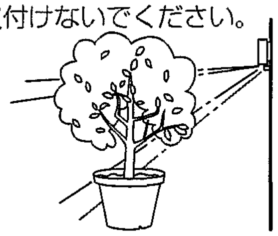
車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。



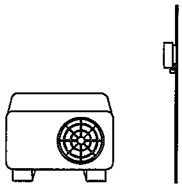
風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。



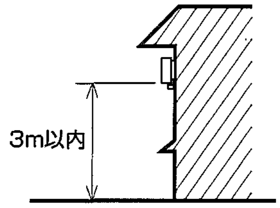
感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。



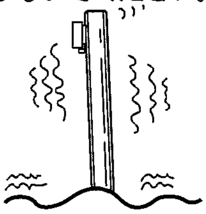
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。



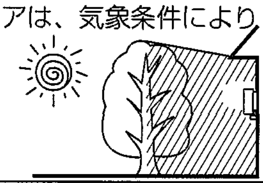
取付高さが3mを超える場所には取付けないでください。



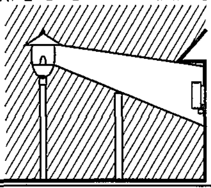
不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。



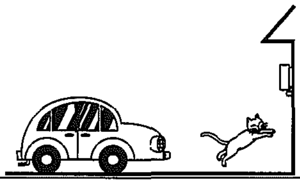
昼間でも暗い場所(木かげ･ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。



夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。



感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



• 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。

6 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

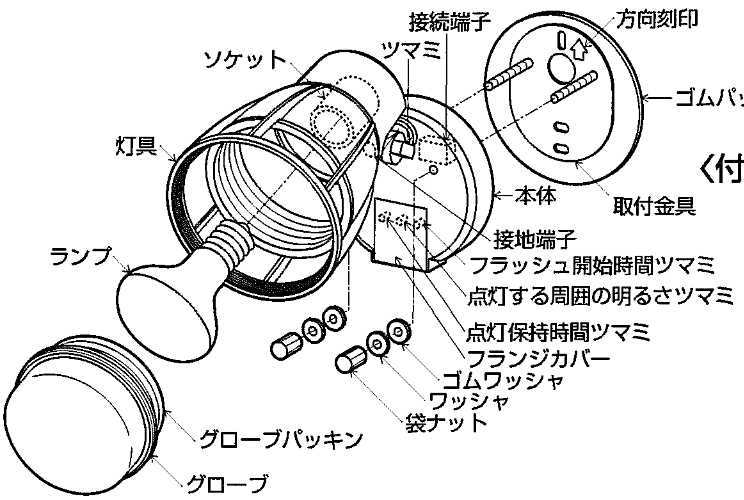
誤作動の原因になります。

7 壁スイッチを設ける

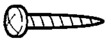
誤作動時のリセットができません。
ランプ交換やお手入れの際、電源をOFFにできません。

■施工手順 ⚠注意 **取付けの際は必ず電源を切ってください。**感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無･損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



〈付属部品〉


取付ネジ・・・・・・・2本

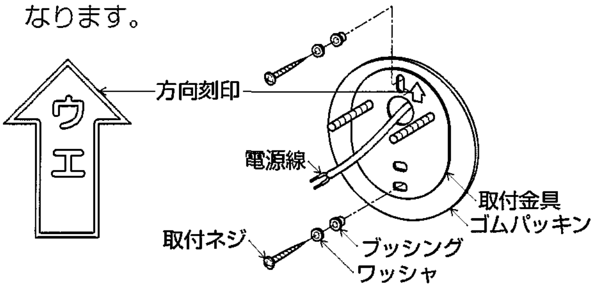
ワッシャ・・・・・・・2枚

ブッシング・・・・・・2個

1 取付金具を取付ける

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、方向刻印の指示に従って、ブッシング、ワッシャ、取付ネジで取付ける。

⚠警告 **方向刻印に従って取付けてください。**
指定方向以外に取付けた場合は火災･感電の原因になります。

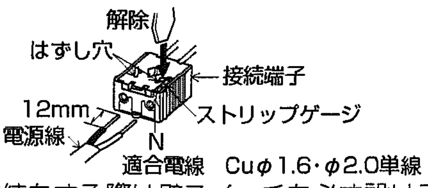


2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

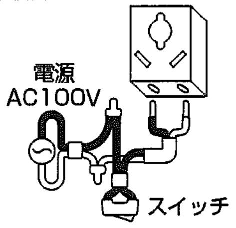
⚠警告 **電源の接続を確実に行なってください。**
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



適合電線 Cuφ1.6･φ2.0単線

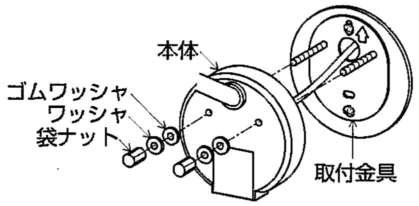
電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。



3 本体を取付ける

本体を取付金具に合わせ、ゴムワッシャ、ワッシャ、袋ナットで取付ける。

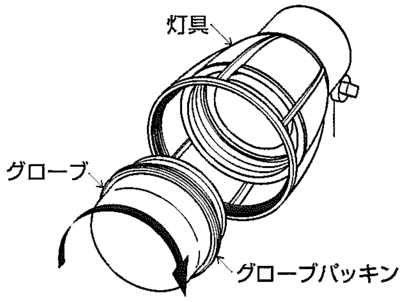


4 ランプを取付ける

5 グローブを取付ける

グローブ、グローブパッキンを灯具に合わせ、矢印方向に回して取付ける。この際、グローブパッキンがよじれたりしないように確実に取付ける。

※無理な力は加えないでください。



6 点灯の確認を行なう

この器具の3つの使い方について

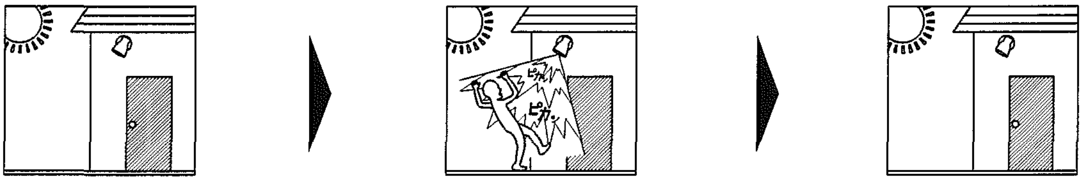
この照明器具は、使用用途に合わせて「防犯**すぐ**モード」「防犯**設定時間後**モード」「**ON/OFF**モード」3つの使い方を選ぶことができます。

●この器具は、壁スイッチをONにしたままお使いください。

防犯**すぐ**モード

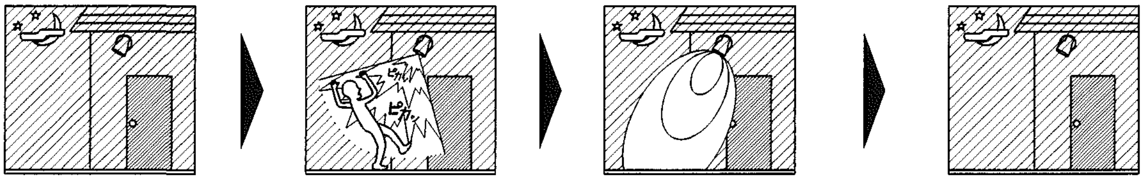
人が近づくとすぐフラッシングします。
●普段家族があまり通らない、暗がりや家の死角の防犯におすすめ　(調整方法は ☞ 6ページ)

周囲が明るい場合(昼間)



人がいないときは消灯 ／ 人が近づくとすぐにフラッシング ／ フラッシング後、消灯

周囲が暗い場合(夜間)

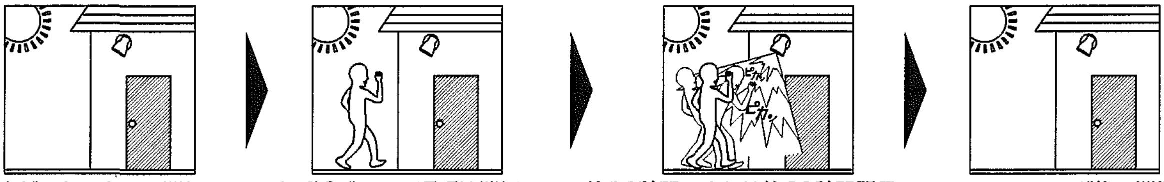


人がいないときは消灯 ／ 人が近づくとすぐにフラッシング ／ フラッシング後、点灯 ／ 人が離れてしばらく(点灯保持時間)すると消灯

防犯**設定時間後**モード

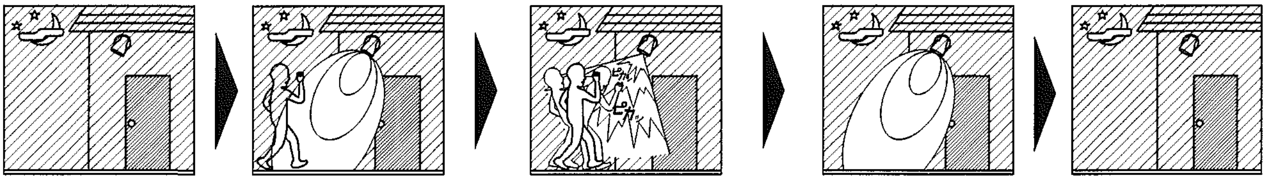
家族が通る場合を考慮し、フラッシング開始までの時間を10秒後または30秒後に設定できます。
●家族の行き来が頻繁な勝手口などの防犯におすすめ　(調整方法は ☞ 7ページ)

周囲が明るい場合(昼間)



人がいないときは消灯 ／ 人が近づいても照明は消灯のまま(検知部が赤く点滅) ／ 約10秒間、または約30秒間器具の近くで人が動き続けるとフラッシング ／ フラッシング後、消灯

周囲が暗い場合(夜間)

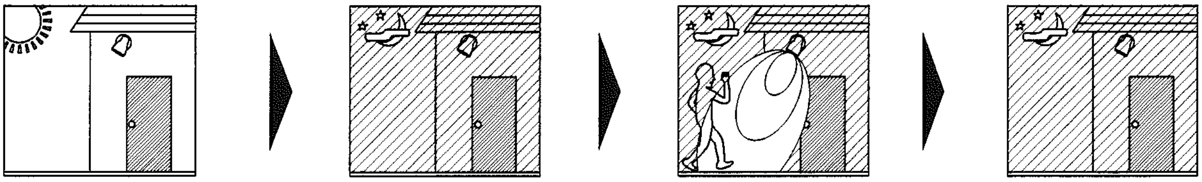


人がいないときは消灯 ／ 人が近づくと点灯 ／ 約10秒間、または約30秒間器具の近くで人が動き続けるとフラッシング ／ フラッシング後、点灯 ／ 人が離れてしばらく(点灯保持時間)すると消灯

ON/OFFモード

フラッシングさせず、人が近づくと点灯、いなくなると消灯します。
●普段の生活のあかりとして使用される場合におすすめ　(調整方法は ☞ 8ページ)

●周囲が明るい場合(昼間)は点灯しません。

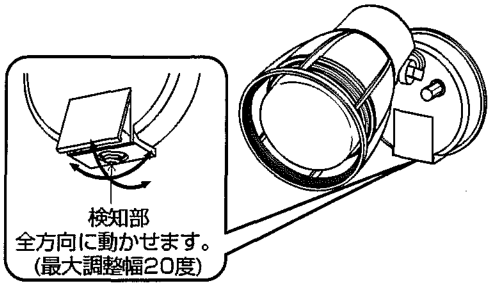


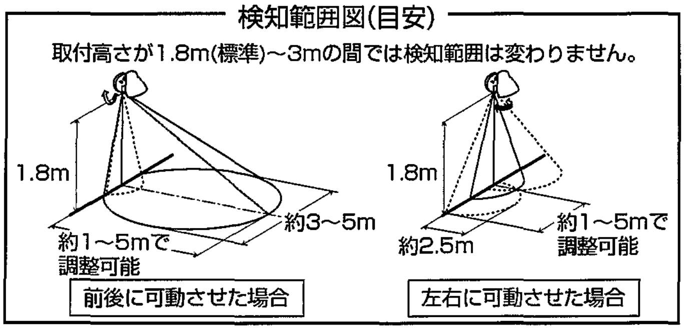
昼間、明るいときは消灯 ／ 周囲が暗くなっても人がいないときは消灯 ／ 人が近づくと点灯 ／ 人が離れてしばらく(点灯保持時間)すると消灯

●1回のフラッシング時間は約10秒間(固定)です。
●「防犯**すぐ**モード」または「防犯**設定時間後**モード」の場合、周囲の明るさに関係なく昼間でもフラッシングします。
●出荷時は、「**ON/OFF**モード」に設定されています。

人の検知範囲について

この器具は、人が近づいたことを検知部が検知してランプを点灯させます。
検知する範囲は検知部を動かすことにより調整できますので、お好みに合わせて調整してください。



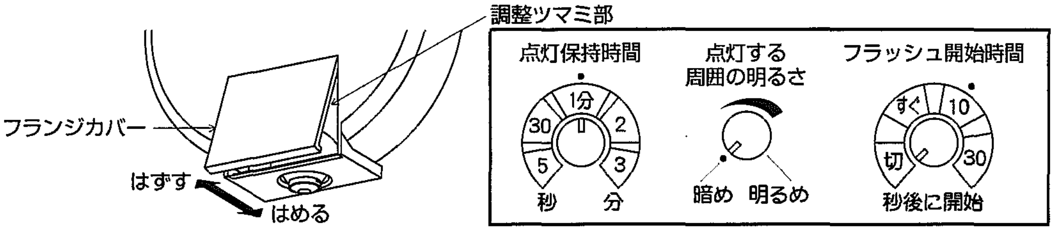


メ モ

- **検知部は検知範囲内の温度変化量を検知するため、人以外の熱源(動物、車など)が移動したときも検知する場合があります。**
- **検知範囲は目安です。気温、服装、人の移動速度、進入方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより変化します。**
- **夏場など気温が体温に近い温度になると、温度変化分が小さくなり、検知範囲は小さくなります。また雨の日も検知範囲が小さくなる場合があります。**
- **検知範囲の外側でも、人より大きな熱源などが移動した場合、検知する場合があります。**
- **器具に向かってまっすぐに接近した場合、より近づかないと検知しません。**

フランジカバーをはずす

設定や調整にはフランジカバーをはずす必要があります。



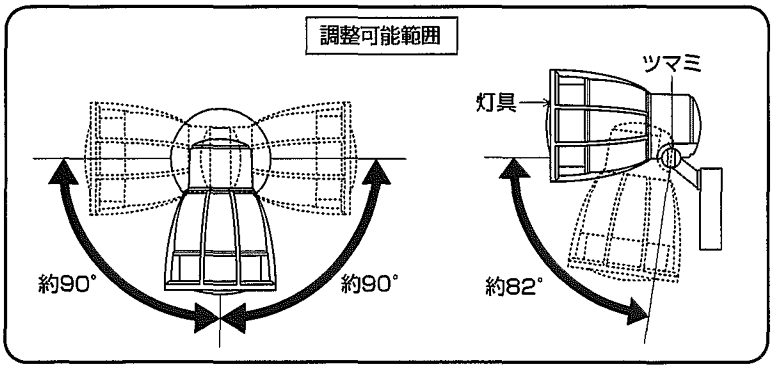
⚠注意
フランジカバーは必ず取付けて使用してください。
フランジカバーをはずしたままで使用すると水が浸入し、感電·故障の原因となります。

照射方向の設定のしかた

この器具は、ランプの照射方向を設定できますので、お好みに合わせて調節してください。

1. ツマミをゆるめる。
2. 照射方向にむける。
3. ツマミを締め付ける。

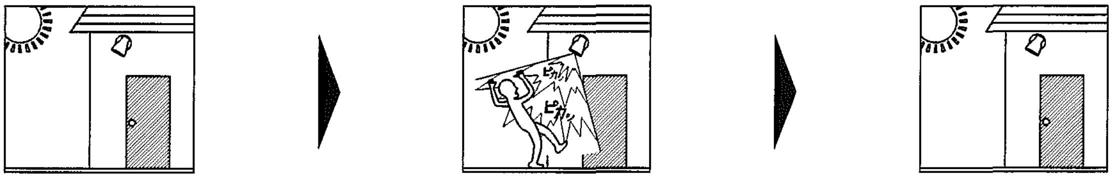
※調整可能範囲以上、無理に動かさないでください。



防犯すぐモードの設定

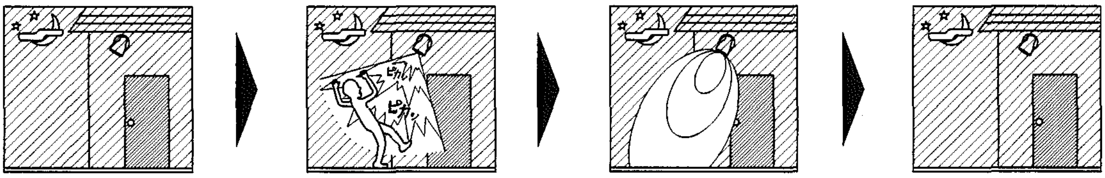
「防犯**すぐ**モード」は、人が近づくとすぐにフラッシングします。
普段家族があまり通らない、暗がりや家の死角の防犯用として使用される場合、おすすめです。

周囲が明るい場合（昼間）



人がいないときは消灯 ▶ **人が近づくとすぐにフラッシング(約10秒間)** ▶ **フラッシング後、消灯**

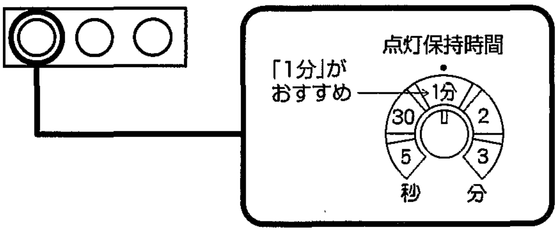
周囲が暗い場合（夜間）



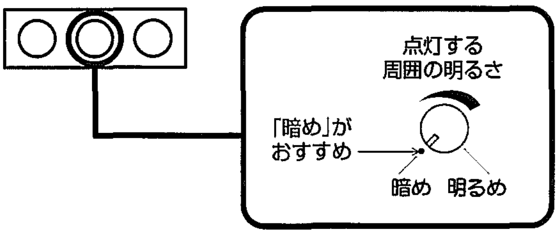
人がいないときは消灯 ▶ **人が近づくとすぐにフラッシング(約10秒間)** ▶ **フラッシング後、点灯** ▶ **人が離れてしばらく(点灯保持時間)すると消灯**

壁スイッチをOFFにして、フランジカバーをはずしてください。（☞5ページ）

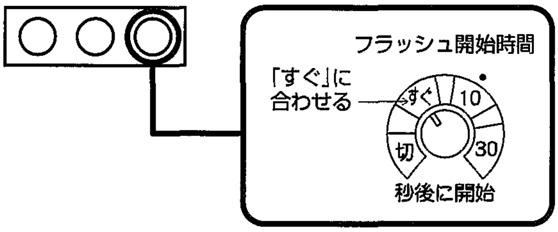
1 **点灯保持時間**ツマミで、人が検知範囲から離れて消灯するまでの時間を設定する



2 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する

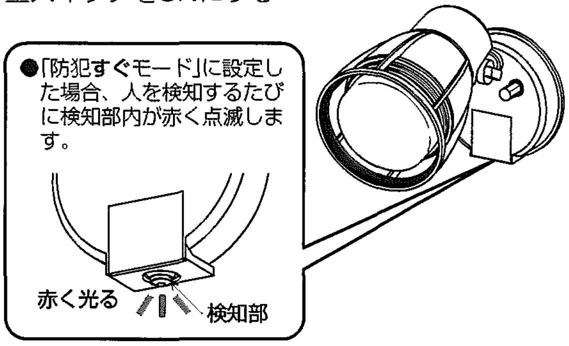


3 **フラッシュ開始時間**ツマミを「すぐ」に設定する



4 フランジカバーを取付ける

5 壁スイッチをONにする



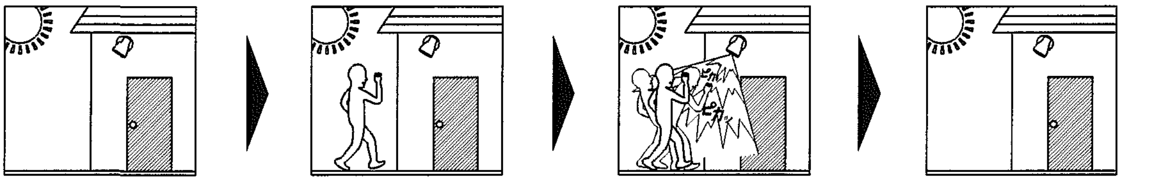
メモ

・**壁スイッチ(電源)をONにした直後の約40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。**

防犯設定時間後モードの設定

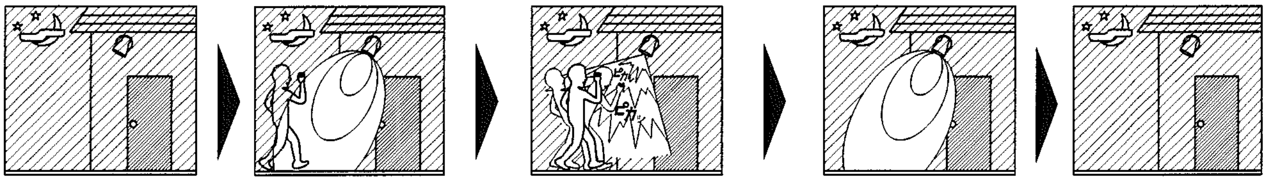
「**防犯設定時間後**モード」は、家族が通る場合を考慮し、フラッシング開始までの時間を10秒間後または30秒後に設定できます。家族の行き来が頻繁な勝手口などの防犯用として使用される場合、おすすめです。

周囲が明るい場合(昼間)



- 人がいないときは消灯
- 人が近づいても照明は消灯のまま(検知部が赤く点滅)
- 約10秒間、または約30秒間、器具の近くで人が動き続けるとフラッシング(約10秒間)
- フラッシング後、消灯

周囲が暗い場合(夜間)

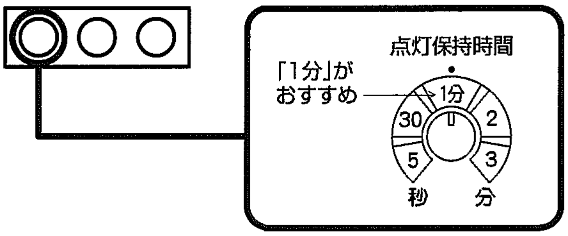


- 人がいないときは消灯
- 人が近づくと点灯
- 約10秒間、または約30秒間、器具の近くで人が動き続けるとフラッシング(約10秒間)
- フラッシング後、点灯
- 人が離れてしばらく(点灯保持時間)すると消灯

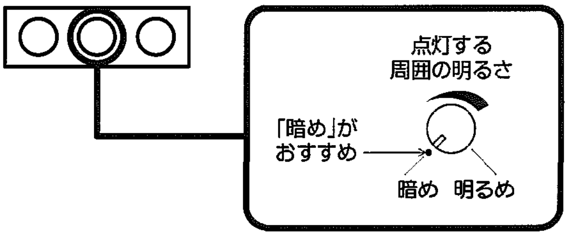
注意：検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままでいる場合にはフラッシングを開始しません。

壁スイッチをOFFにして、フランジカバーをはずしてください。(☞5ページ)

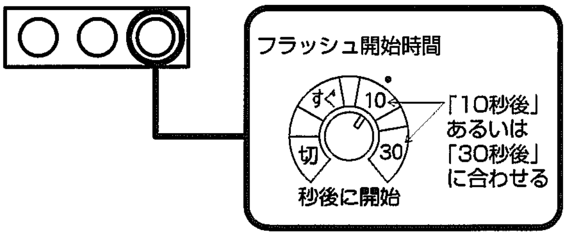
1 **点灯保持時間**ツマミで、人が検知範囲から離れて消灯するまでの時間を設定する



2 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する

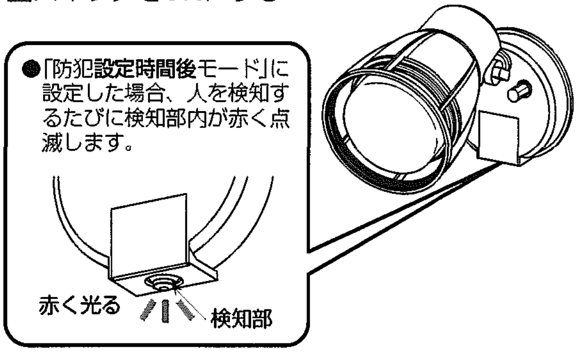


3 **フラッシュ開始時間**ツマミで検知範囲内に人が入ってからフラッシングを開始するまでの時間を設定する



4 フランジカバーを取付ける

5 壁スイッチをONにする



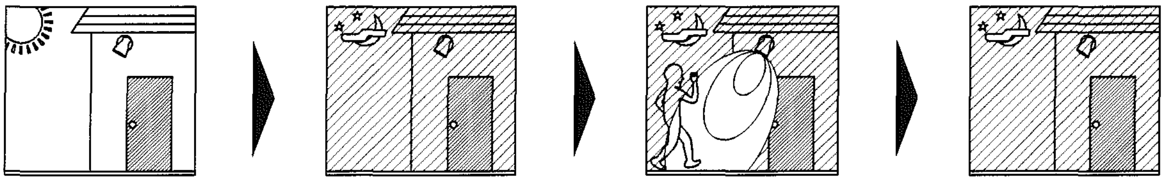
メモ

- **壁スイッチ(電源)をONにした直後の約40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。**

ON/OFFモードの設定

「ON/OFFモード」は、フラッシングさせず人が近づくと点灯、いなくなると消灯します。
普段の生活のあかりとして使用される場合、おすすめです。

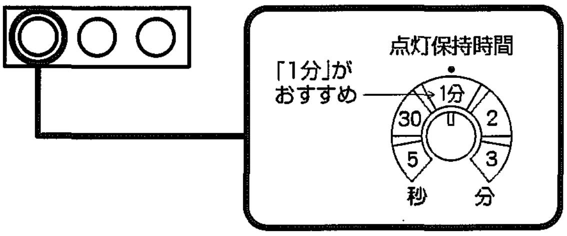
●周囲が明るい場合(昼間)は点灯しません。



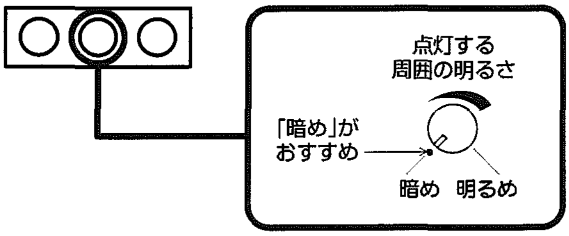
昼間、明るいときは消灯 → 周囲が暗くなっても人がいないときは消灯 → 人が近づくと点灯 → 人が離れるてしばらく(点灯保持時間)すると消灯

壁スイッチをOFFにして、フランジカバーをはずしてください。(☞5ページ)

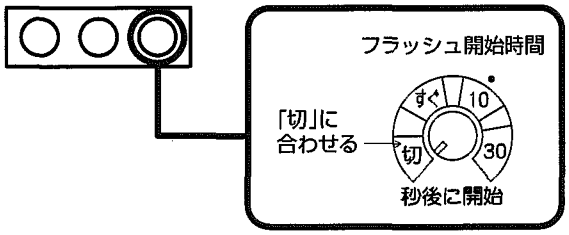
1 **点灯保持時間**ツマミで、人が検知範囲から離れて消灯するまでの時間を設定する



2 **点灯する周囲の明るさ**ツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する



3 **フラッシュ開始時間**ツマミを「切」に設定する



4 フランジカバーを取付ける

5 壁スイッチをONにする

メモ **・壁スイッチ(電源)をONにした直後の約40秒間は、設定に関係なくランプが点灯します。**

修理を依頼される前に(下記の点検をお願いします)

●異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
●正常に戻らない場合は壁スイッチをOFFにして(5秒以上)再びONにしてください。
●壁スイッチは通常は必ず昼間でもONのままにしておいてください。

現　象	考えられる原因	処　置
人を検知しているのに点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている	壁スイッチ(電源)をONにする
	ランプが切れている	ランプを交換する(☞10ページ)
	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	**点灯する周囲の明るさ**ツマミを「**明るめ**」側(右方向)に少し回す(☞8ページ)
	人が静止している	静止している人は検知できません
人を検知する範囲が狭い	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する(検知部を動かす)(☞5ページ)
	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部をやわらかい布で傷がつかないよう拭く
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません(☞5ページ)
検知範囲に人がいないのにフラッシングまたは点灯している	検知範囲内に人以外の熱源がある (例)白熱灯照明器具、エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの(植木、洗濯物など)、車の熱やヘッドライト、犬や猫などの動物、強い風、雨、雷など	本センサは温度変化を検知するため、左記の要因で検知範囲の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります(故障ではありません)
	壁スイッチ(電源)をONにした直後または停電が回復した直後である(検知部が赤く点滅)	壁スイッチ(電源)がON後、約40秒間は必ず点灯します
周囲が明るいのに点灯する	**点灯する周囲の明るさ**ツマミが「**明るめ**」になっている	**点灯する周囲の明るさ**ツマミを「**暗め**」側(左方向)に回す(☞6、7、8ページ)
	「防犯**すぐ**モード」または「防犯**設定時間後**モード」になっている(**フラッシュ開始時間**ツマミが「**切**」以外になっている)	「防犯**すぐ**モード」または「防犯**設定時間後**モード」になっている場合は、周囲が明るくてもフラッシングします
フラッシングさせたいのにフラッシングしない	●人が近づいても100%点灯しかしない場合→「**ON/OFF**モード」になっている(**フラッシュ開始時間**ツマミが「**切**」になっている)	「防犯**すぐ**モード」または「防犯**設定時間後**モード」に設定する(☞6、7ページ)
	●人が近づいてもすぐにフラッシングしない場合→「防犯**設定時間後**モード」になっている(**フラッシュ開始時間**ツマミが「**10秒後**」または「**30秒後**」になっている)	「防犯**すぐ**モード」に設定する(☞6ページ)
	●「防犯**設定時間後**モード」で、設定時間を過ぎてもフラッシングしない場合→人が静止している、または検知範囲内をすばやく通り過ぎた	人が静止していたり、検知範囲内をすばやく通り過ぎた場合には、設定時間を過ぎてもフラッシングしません
	一度フラッシングしており、フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、点灯保持時間が経過しないと、再びフラッシングしません
フラッシングさせたくないのにフラッシングしてしまう **※フラッシングは周囲の明るさに関係なく昼間でも動作します。**	「防犯**すぐ**モード」または「防犯**設定時間後**モード」になっている (**フラッシュ開始時間**ツマミが「**切**」以外になっている)	●人が近づいてもすぐにフラッシングさせたくない場合→「防犯**設定時間後**モード」に設定する(☞7ページ) ●人が近づいた時にフラッシングではなく100%点灯させたい場合→「**ON/OFF**モード」に設定する(☞8ページ)

処置した後に異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- **照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。**放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- **点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。**ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- **パイロットスイッチなど、電源のON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合は壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。**

■ランプ交換について ⚠注意 **ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。**感電の原因になります。

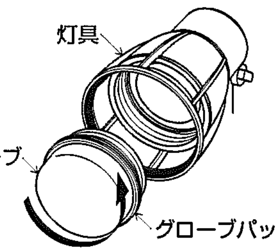
⚠**警告 指定のランプ以外は使用しないでください。**
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

⚠**注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。**やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 グローブを取外す

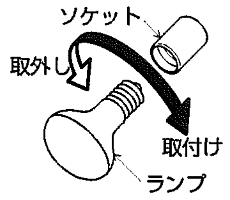
グローブを矢印方向に回して灯具より取外す。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。



5 グローブを取付ける

■施工手順5を参考にグローブを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ ⚠注意 **器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。**感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ケ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜保証について＞

1．取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2．保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。
但し、蛍光灯安定器・ＨＩＤ器具の安定器は3年間です。
3．ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4．24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5．保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6．保証書は日本国内においてのみ有効です。
7．保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

1．保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2．保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3．販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4．弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体：1年間　安定器：3年間			
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話　（　　）		

R100 100%再生紙を使用しています。